

ビデオカンファレンスシステム

1983 年（昭和 58）に映像信号の 1.5Mbps 符号化方式に基づくビデオカンファレンスシステムが開発された。このビデオ会議システムを利用すると、遠隔地間で通信回線により音声、図形、静止画、動画像を相互に伝送して臨場感ある会議が可能になる。ビデオカンファレンスシステムは KDD ビルおよび KDD 研究所に設置され、84 年以降、両者間において実際の会議での使用を含め、システムの総合機能試験が進められた。

出典：KDD 社史